

特集 2012「大型」年末 和洋日配部門の戦い方

城取フードサービス研究所
城取 博幸

2012年末の消費動向とマッチする「売場づくり」「商品づくり」

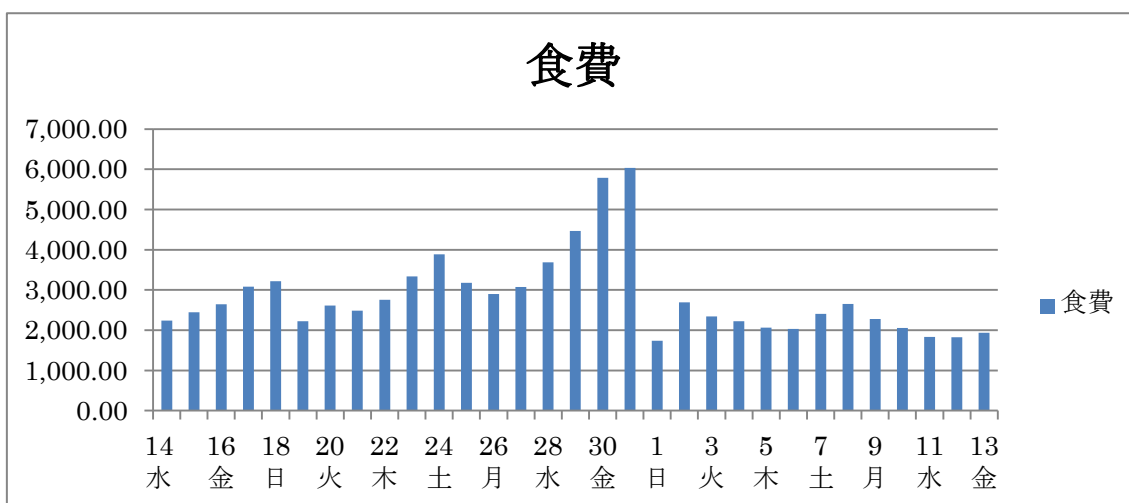
昨年（2011年）のクリスマス前週、クリスマス週、年末、年始の1世帯当りの日別消費支出（二人以上世帯）を見てみると、支出金額3,000円を超えている日（12月14日～1月13日）は、17日（土）、18日（日）、23日（金）、24日（土）、25日（日）、27日（火）～31日（土）です。この日は客単価が高いことを意味しています。特にこの日（23日）を売り逃さないこと。

今年の曜日周りは、クリスマスイブは24日（月曜）。前日が「天皇誕生日」の振替休日。22日（土）、23日（日）、24日（月）の3連休となるため、クリスマス準備が早まる可能性があります。22日のMDがポイントとなる。

年末年始の曜日周りは、お正月は三が日明けの1月4日が金曜日、4日を休めば9連休、10連休を取る人も少なくなさそうです。休みが分散しないため、「内食需要」が高まる可能性があります。ポイントとなる日は、29日（土）です。2013年、年始の週末は、5日（土）、6日（日）であるため、正月用品から普段の食材への売場、商品の切り替えのスピードが速まります。ポイントとなる日は4日（金）です。

2011年12月～2012年1月の消費動向

日別消費支出



総務省 家計調査報告

12月10日（月）～16日（日）まで

冬支度 野菜を漬けるシーズンに「漬けもの」「鍋材料」が売れる。関連商品を売り逃すな！

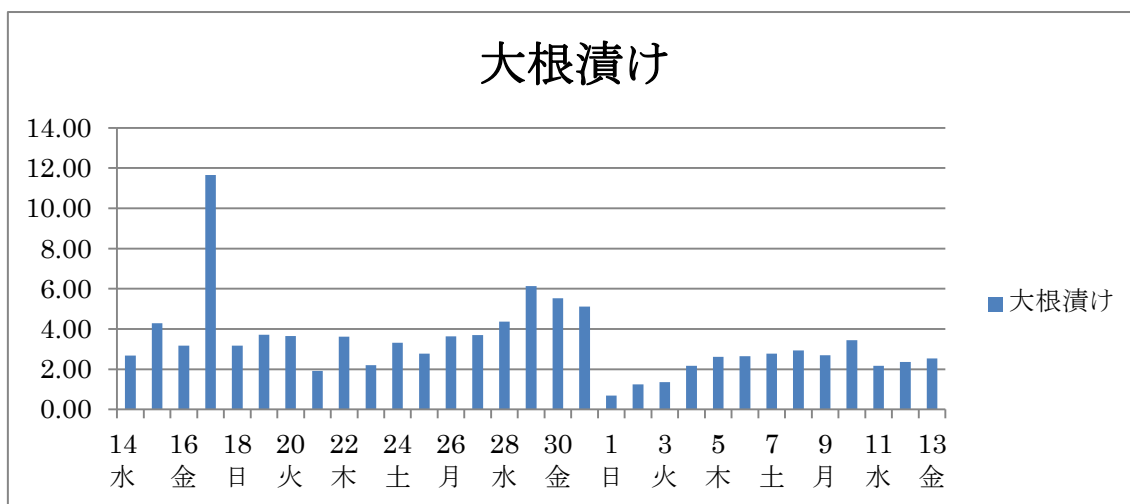
12月中旬は、大根や白菜、野沢菜を漬ける時期です。漬けた漬物はすぐには食べられません。その時期に不思議と漬け物がよく売れています。梅を漬ける時期に梅干が売れるのと同じ傾向があります。

漬け物を売り逃さないようにすると同時に、「練り粕」、「板粕」、「麴」、「ぬか床」、「キムチ漬きの素」など漬け物材料も忘れずに訴求します。大型店は3尺縦割の売場を作る。

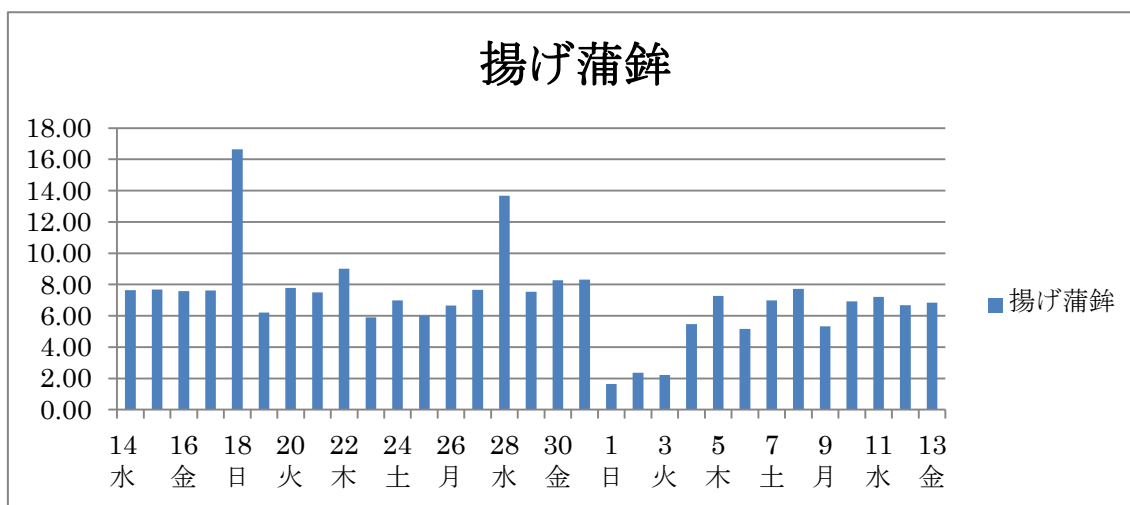
漬け物だけでなく、豆腐、こんにゃく、練製品などの「おでん材料」「鍋商材」も動いています。昨年の揚げ蒲鉾は、この時期が12月で一番動いています。多めの在庫を持ち品切れ防止に努めます。

大根漬け

2011年12月 日別消費支出



揚げ蒲鉾



12月21（金）～25日（火）まで

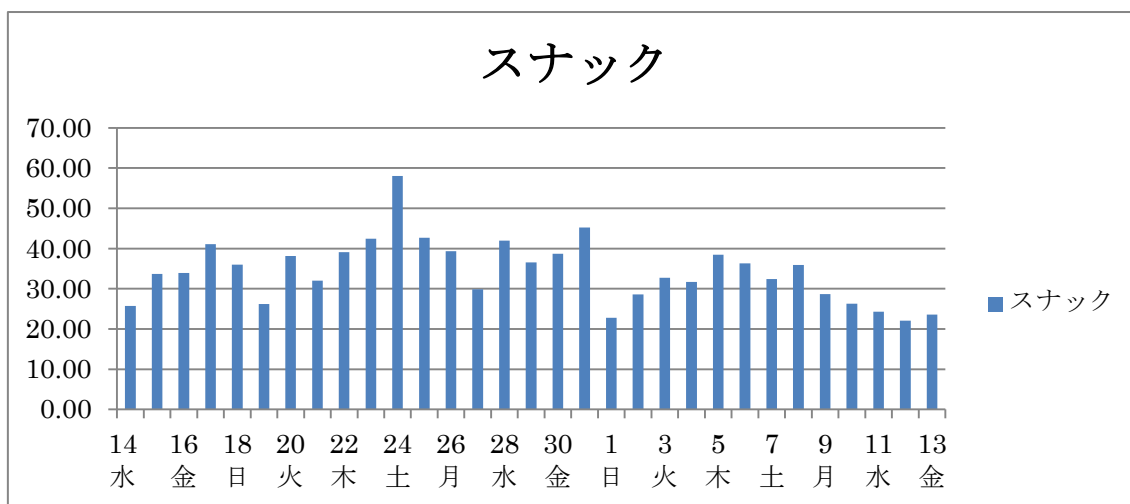
クリスマスは乳製品は欠かせない。冷凍食品、アイスクリームの訴求

クリスマスは、1年で一番乳製品に買物が集中する週です。

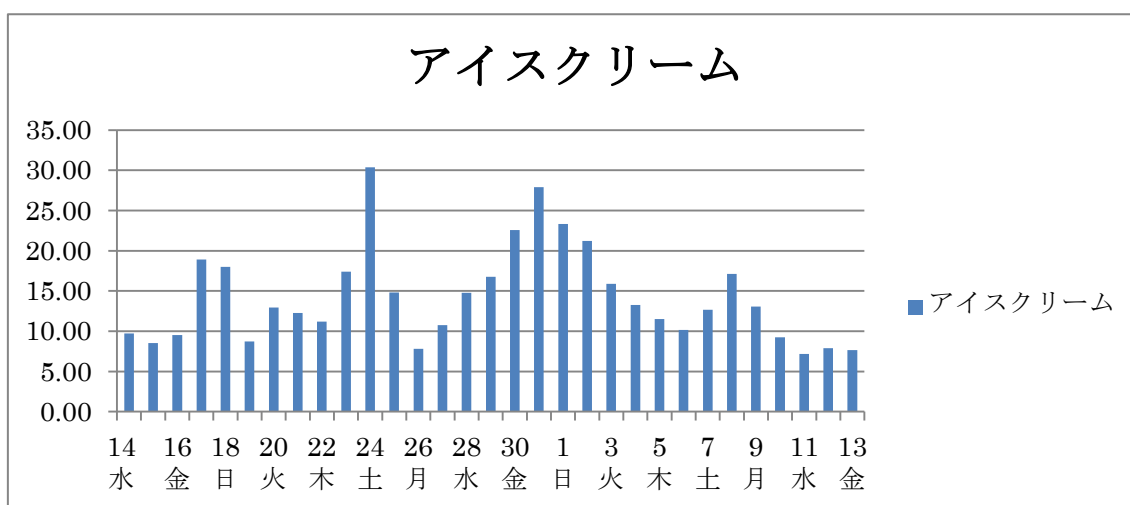
「予約のクリスマスケーキ」や「手作りケーキ材料」「ワインとチーズ」に目が行くには当然ですが、乳製品を使った、ピザ、グラタン、スパゲティなどのチルド、冷凍スナックにも注目。特に今年は、冷凍のパンケーキやベルギーワッフル、ラザニア、パエリア、冷凍パスタ、パイシートなどを訴求したい。スナックは12月で一番の量販期です。

アイスクリームも昨年は、年末の31日より24日の方が動いています。特に今年は、「冷凍ケーキ」やシュークリームなどの「冷凍洋菓子」「冷凍和菓子」を訴求します。冷凍食品やアイスクリームはロスが出ないため、早めに導入しておきます。

スナック



アイスクリーム



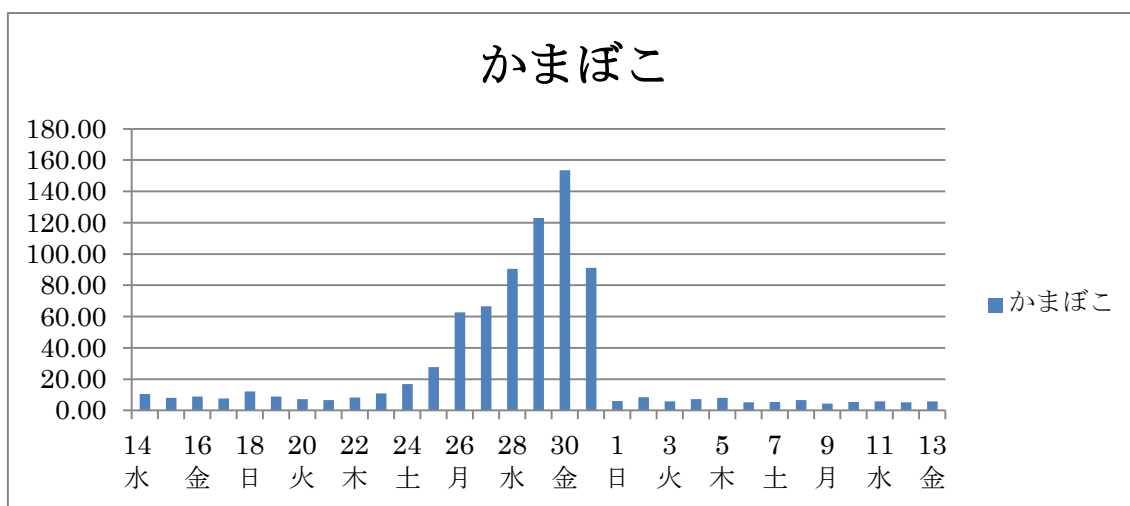
12月25日（火）～31日（月）まで

練製品の販売は22日から勝負！

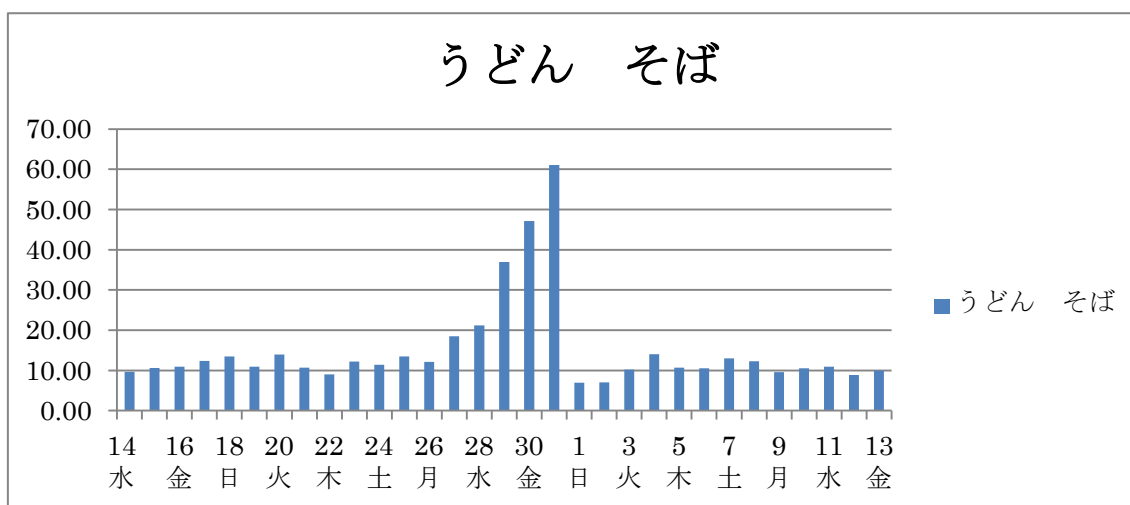
お節材料の陳列日が早くなっています。それに連れて該当商品も早くから売れ始めています。かまぼこは、クリスマスのサラダ需要から始まり、売上は30日までうなぎ昇りです。31日の需要は急激に落ち込んでいます。年明けの需要もあまり期待できません。練製品の販売強化はクリスマス前の22日から30日まで。

うどんやそばも27日頃から、前週と違った動きをしているため、年越しそばの需要であると考えられます。冷凍麺やロングライフ商品の準備もしておきます。かまぼこや佃煮、そばもギフトとしても使われていますので、ギフト用も準備しておきましょう。

かまぼこ



うどん そば



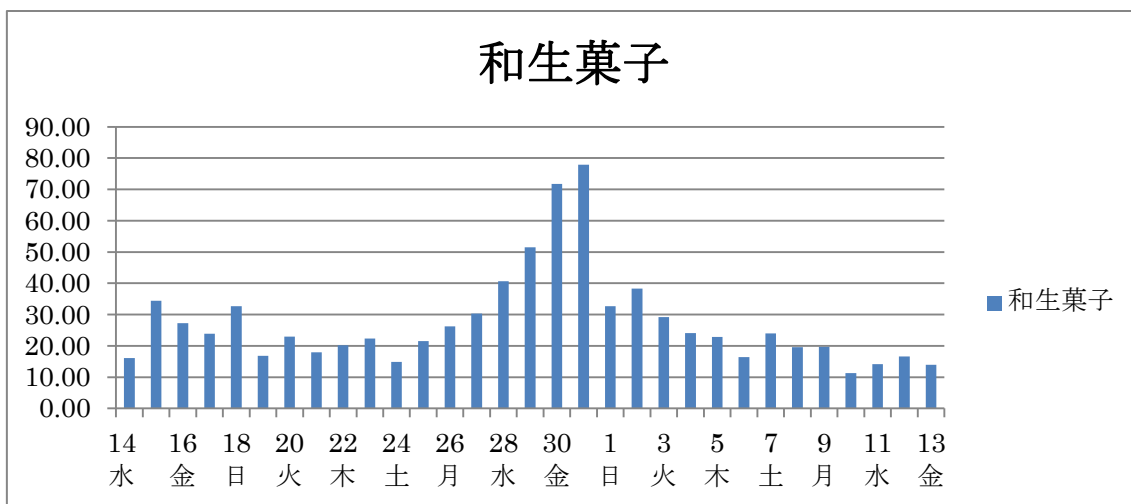
2013年1月1日（火）～3日（木）まで

人が集まれば「甘味」が売れる。年末の「和菓子」年始の「洋菓子」

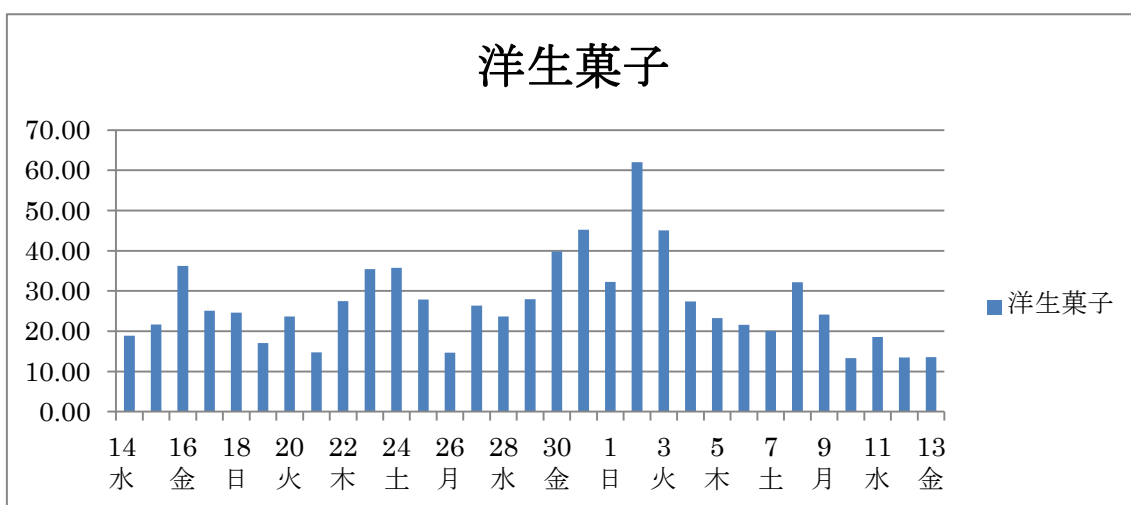
和洋菓子を見ると、「クリスマス」「年末」「年始」は、和菓子と洋菓子とでは全く違った動きをしています。和菓子の支出は、24日を底に25日から31日までほうなぎ昇りですが、年始はいつもの週末を少し上回る程度の動きです。一方、洋生菓子（ケーキを除く）は、1月2日によく動いています。「年末の和菓子」「年始の洋菓子」の傾向がはっきりと表れています。

しかし、両方を同時に、力を入れて販売していないことも考えられます。「人が集まれば甘味が売れる」ため、今年は、和洋意識せず両方を販売してみるのも一案です。

和生菓子



洋生菓子



年始 2013年1月4日（金）～6日（日）まで

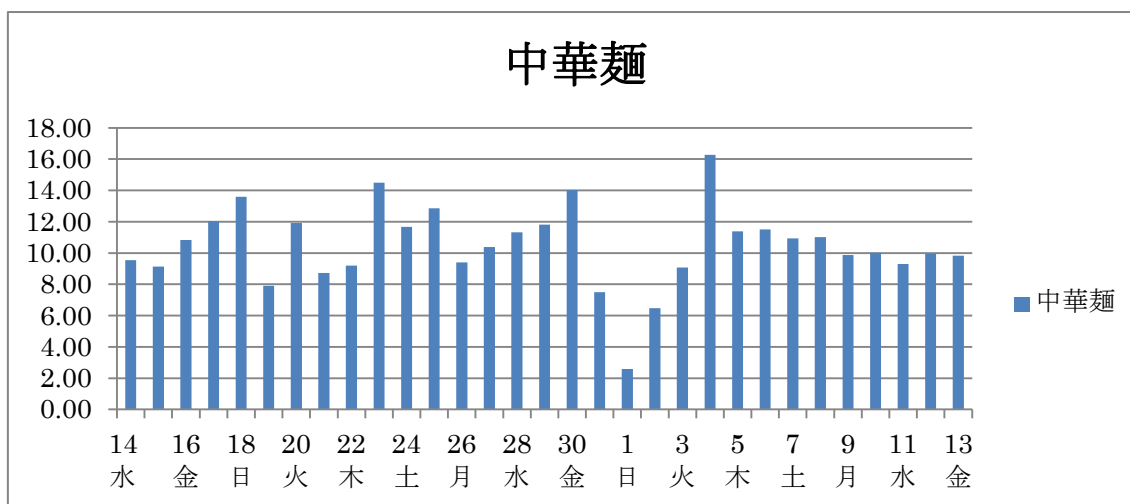
基礎商品は年始の週末 品切れに注意！

2013年年始の曜日周りは、5日（土）、6日（日）であるため、三が日を過ぎた4日（金）には、正月明けの基礎商品の準備をせねばなりません。昨年データを
見ても、4日から普段の商品が動き始めているため、十分商品を確認して品切れには十分注意したい。逆に2日、3日の過剰在庫には注意したい。4日には年始日付の商品を販売したい。

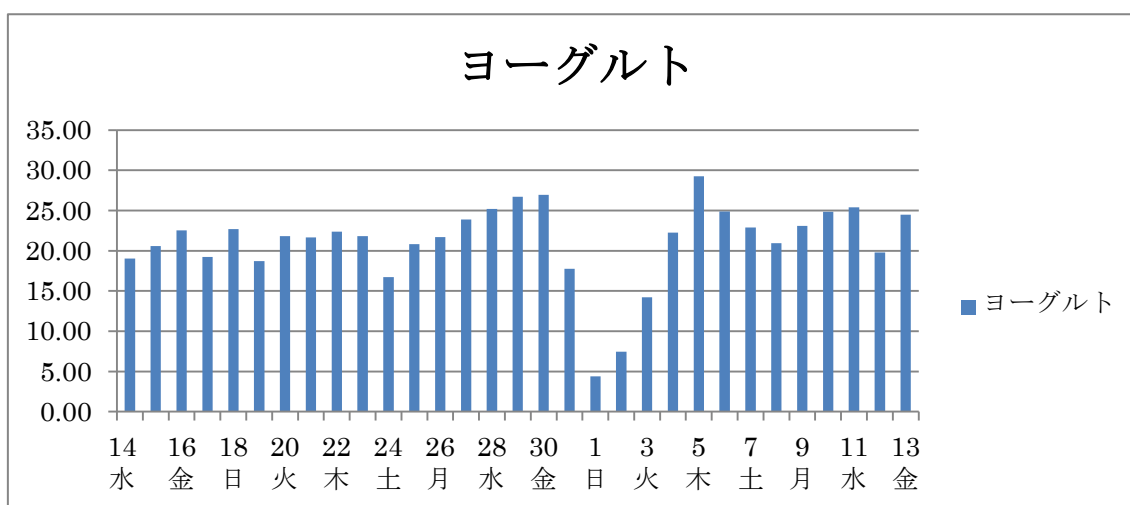
中華麺は昨年データでは、年始の4日によく動いたため、年始から「全国ラーメン祭り」「B級グルメ 焼きそば祭り」などの企画もおもしろい。

ヨーグルトは、5日のよく動いています。ヨーグルトは、子供が冬休みに入る時期から年末31日までよく動いている、乳酸菌飲料は28日がピーク。3p、4p、6pなどストック商品として販売したい。

中華麺



ヨーグルト



暖冬予想

今年は暖冬が予想されています。07年末も暖冬であった。衣料、住関連の耐久消費財は振るわなかったが、食品の売上げは総じて良かった。吹雪や大雪が続けばスーパーマーケットの来店も減るため、売上も減少します。

販売する商品は、厳冬、大雪予想であれば麺のケース売りや野菜飲料などの「ストック商品」がよく売れますが、暖冬であればそれらの需要は減るため、中長期の天気予報を確認して商品の手配をしていただきたい。

商業界 「食品商業」 今月号 元原稿